



株式会社福岡ソフトウェアセンター

2019年度 新入社員向け研修のご案内



FUKUOKA
SOFTWARE
CENTER

福岡ソフトウェアセンターでの新入社員研修メリット

福岡ソフトウェアセンターの設立時から、IT人材育成事業で培いました経験と実績を基に、時代にマッチしたIT人材育成を目的として、「品質」を上げる基礎技術習得と人間力を向上する研修をご用意いたしました。当社の新入社員研修は、社会人としての基礎力、IT技術者としての基礎技術力、及び社内(外)との協調性を強化する内容となっております。

福岡ソフトウェアセンター新人研修での3つの重点項目・5つの特徴

時代にマッチしたIT人材育成を目的として、「品質」を上げる基礎技術習得と人間力を向上する研修を実施します。

IT技術者としての
基礎技術習得

IT技術者としての
専門技術習得

人間力強化のための
ヒューマンスキル

【特徴】

- ◆ プログラミング未経験者(情報系以外の学校卒業)でも理解が深まる教育カリキュラム
- ◆ システム開発ワークショップで、プロジェクトによる開発工程の全てを実践体験
- ◆ アクティブラーニングによる双方向の教育を徹底実施
- ◆ 受講生同士の学びあう文化を醸成することで、協力する大切さを学ぶ
- ◆ 日替わりのリーダーに教室運営を任せることにより自主性を引き出す

2018年度・受講生の声

- システム開発ワークショップにおいて、メンバー全員が違う会社であったのでコミュニケーションの取り方、時間管理の仕方が難しく今後の業務で役に立ちそうな事をたくさん学びました。(Oグループ・4名)
- 他社の研修生が多く、仕事の付き合いとは思えない程親密にしてくれたのでとても充実した研修になりました。(T社・A様)
- アクティブラーニングで、教えあいなどを挟んでいただいたのでお互いの理解の仕方、解釈の違いなどを感じることができ、新しい考え方ができました。(G社・K様)
- リーダーがいたことで、自主的に動けるような環境になったと思いました。(I社・I様)
- 運営が自分たちにまかされていたので状況を判断したり指示を出したりと、リーダーシップを学ぶいい機会になりました。(N社・T様)
- 研修の科目事態はバランスよく組まれていたので、平均的に学ぶ事が出来ました。(F社・I様)
- 3分間スピーチは最初はとても嫌でしたが、経験したおかげで発表に対する苦手意識が軽減しました。(S社・H様)
- 最初はみんなよそよそしい感じでしたが仲も深まり研修が終わってもまた集まったりと思います。講師の方々も優しく講義もわかりやすかったです。(S社・H様)
- クラスマネージャー(担任)がとても親切で一人一人の研修生に対して親身になって話をしてくださったり、話しかけてくれたのでとても励みになりました。(B社・A様)

新入社員向け研修の概要

【対象者】2019年度の新入社員（中途採用、配置転換等含む）

【目 標】IT技術者（社会人）としての基本知識と技術の習得、問題発見・解決の習得、チームワークにおける協調性の強化を基本とします。

【コース】ITエンジニア育成コース（18講座/57日間）＜4/30～5/2のLinux技術を含みません＞

【会 場】福岡ソフトウェアセンター福岡研修室

【期 間】2019年4月3日（水）～ 6月28日（金）

各講座の詳細は別紙をご参照ください。

【時 間】9:30～17:30（7時間/日、昼食休憩1時間）

【ご注意】4月30日～5月2日の期間を皇位継承行事前後で休日（3連休）にする案を政府が検討中ですが、2018年10月15日現在まだ確定しておりません。新人研修スケジュールではどちらでも対応できる内容としております。

会場案内/お問合せ



【お問合せ】

(株)福岡ソフトウェアセンター

TEL 092-292-9710

FAX 092-292-9715

Mail info@fsc-go.co.jp

担当:徳重・中村

【住 所】

〒812-0011

福岡市博多区博多駅前2-11-16

第2大西ビル5階（506号）

福岡ソフトウェアセンター

【交通アクセス】

- ・ JR博多駅より
徒歩 約10分
- ・ 市営地下鉄祇園駅より
徒歩 約 5分
- ・ 西鉄バス博多駅前一丁目バス停より
徒歩 約 2分

カリキュラム内容 (ITエンジニア育成コース)

日程	講座名	日数	内容
4月3日(水) ～ 4月5日(金)	ITエンジニアに必要な ビジネススキル1	3日間	ITエンジニアに必要なビジネススキルを習得します。挨拶・電話応対・名刺交換等のビジネスマナーをはじめとし、PDCA・報連相といった仕事の基礎的内容からビジネスに不可欠なコミュニケーション、ITエンジニアとして求められるマナーを習得します。
4月8日(月) ～ 4月10日(水)	コンピュータサイエンス	3日間	コンピュータ技術で最も基礎となるコンピュータの仕組みやハードウェア及びソフトウェアの機能を学習します。
4月11日(木) ～ 4月12日(金)	情報セキュリティ	2日間	情報資産に対する脅威、脆弱性の基本的な考え方などを含め、情報システムを開発する上で必要な情報セキュリティに関する知識を学習します。
4月15日(月) ～ 4月18日(木)	ネットワーク技術	4日間	現在の情報システムに欠かせないネットワーク技術について、LANを中心にC/S(クライアント/サーバ)ネットワークの基礎知識を学習します。ネットワークの設計、構築を中心に、机上／実機演習を行います。
4月19日(金)	開発に必要なドキュメント作成 (Excel & Word)	1日間	開発で利用するドキュメントを効率よく作成するために必要なExcelとWordの機能を学習します。
4月22日(月) ～ 4月23日(火)	最新IT技術 【新規講座】	2日間	AI(人工知能)、IoT、クラウドやブロックチェーン(仮想通貨基盤技術)などIT業界で必須となる最新技術の基礎部分を学びます。
4月24日(水) ～ 4月26日(金)	アルゴリズム	3日間	プログラミングする上での前提知識であるアルゴリズムおよびデータ構造を、流れ図(フローチャート)を使った演習を通して学習します。
4月30日(火) ～ 5月2日(木)	Linux技術 (注)	3日間	現場での活用が多くなってきたLinuxを、ディストリビューションの一つであるCentOSを使って学習します。主にファイルシステム、シェル、ネットワーク管理、ユーザ管理、パッケージ管理を学びます。
5月7日(火) ～ 5月9日(木)	データベース技術	3日間	情報システムの基盤となるデータベースをファイルの概念を含め、データ操作に必要な知識を中心に学習します。また、RDBMS製品を使用したハンズオントレーニングも行います。
5月10日(金) ～ 5月14日(火)	プログラミング ワークショップ1 (Java言語)	3日間	Java言語の基本文法(式と演算子、変数と型、制御構造等)について理解し、演習を通してプログラミングスキルを習得するワークショップです。

(注) 4月30日～5月2日が休日になりましたら実施いたしません。

カリキュラム内容 (ITエンジニア育成コース)

日程	講座名	日数	内容
5月15日(水) ～ 5月16日(木)	プログラミング ワークショップ2 (Java言語)	2日間	プログラミングワークショップ1に引き続きJava言語の基本文法(メソッド、配列等)を学習します。プログラミング課題を実施することによりさらにプログラミングスキルを深めます。
5月17日(金) ～ 5月20日(月)	HTML5/CSS3	2日間	Webページ作成の基本および、主流となっているHTML5とCSSでのWebページ構築について学習します。
5月21日(火) ～ 5月22日(水)	ITエンジニアに必要な プレゼンテーション実践	2日間	IT技術者にとって必要不可欠な対人対応能力を、情報収集スキルとプレゼンテーションスキルをベースに、実際のインタビューやプレゼンテーションを行いながら学習します。
5月23日(木) ～ 5月28日(火)	Java言語によるオブジェクト 指向プログラミング	4日間	オブジェクト指向について理解し、Java言語でオブジェクト指向プログラミングを行う力を身につけます。
5月29日(水) ～ 5月31日(金)	システム開発およびレビュー とテスト	3日間	システムの開発プロセス並びに開発技法の基本的な考え方を理解し、ソフトウェア開発におけるレビューのやり方、レビューのポイントを学びます。また、ソフトウェア開発における最終段階となるテストについて、品質向上の観点から捉えたテスト実施ができるように、テスト技法に関して演習を行っていきます。
6月3日(月) ～ 6月7日(金)	サーバサイド技術	5日間	Webアプリケーション開発に必要なサーバサイドJavaのサーブレットおよびJSPIに関して学習します。Tomcatを用いたアプリケーションサーバの構築、さらにJDBCでのDBアクセスも学習します。
6月10日(月) ～ 6月13日(木)	システム開発ワークショップ1	4日間	システム開発の上流工程である要件定義をグループで行っていきます。課題はWebアプリケーションの開発で、プロジェクトの開発現場を経験する実践的なワークショップです。
6月14日(金) ～ 6月27日(水)	システム開発ワークショップ2	10日間	システム開発ワークショップ1で作成した要件定義書を元に外部設計、内部設計、製作、デバッグと下流工程を含めて全ての工程を実施します。グループでのプロジェクト開発であり決められた納期までに品質を考慮して完成させる実践的なワークショップです。最終日はワークショップで開発した成果をグループで発表します。
6月28日(金)	ITエンジニアに必要な ビジネススキル2	1日間	全研修を振り返りIT人材として自身の成果とこれからの決意を個人毎にプレゼンテーションを行います。また配属に際してITエンジニアに必要なコミュニケーション及びビジネススキルの見直しを行います。

価格表

番号	講座名	日数	受講料(税別)
1	ITエンジニアに必要なビジネススキル1	3日間	54,000円
2	コンピュータサイエンス	3日間	54,000円
3	情報セキュリティ	2日間	36,000円
4	ネットワーク技術	4日間	72,000円
5	開発に必要なドキュメント作成 (Excel & Word)	1日間	18,000円
6	最新IT技術	2日間	36,000円
7	アルゴリズム	3日間	54,000円
8	Linux技術 (注1)	(3日間)	(54,000円)
9	データベース技術	3日間	54,000円
10	プログラミングワークショップ1 (Java言語)	3日間	54,000円
11	プログラミングワークショップ2 (Java言語)	2日間	36,000円
12	HTML5/CSS3	2日間	36,000円
13	ITエンジニアに必要なプレゼンテーション実践	2日間	36,000円
14	Java言語によるオブジェクト指向プログラミング	4日間	72,000円
15	システム開発およびレビューとテスト	3日間	54,000円
16	サーバサイド技術	5日間	90,000円
17	システム開発ワークショップ1	4日間	72,000円
18	システム開発ワークショップ2	10日間	180,000円
19	ITエンジニアに必要なビジネススキル2	1日間	18,000円
合計 (注2)		57日間	1,026,000円

(注1) 他の研修もご受講の方は無料と致します。(「Linux技術」のみご受講した場合の金額です。)

(注2) 合計の「日数」および「受講料」には「Linux技術」は含まれておりません。

【ITエンジニア育成コース全コース受講 割引制度】

ITエンジニア育成コース全コースを、お申し込みの場合、以下の金額にてご提供いたします。

全コース(18または19講座) **お一人様 1,026,000円 → 666,900円(税別) 35%割引**

【助成金制度】

カリキュラムの詳細や各種助成金等についての活用方法等、ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。新入社員研修を受講いただく場合、公的助成金制度を活用することができます。

(参考) 人材開発支援助成金(特定訓練コース 若年人材育成訓練)を活用し全コース受講の場合

受講金額 720,252円 全コース受講時間 399時間 ※助成率・助成額は中小企業対象額です。

・経費助成 (45%助成) $720,252 \times 45\% = 324,113$ 円 (100円未満切り捨て)

・賃金助成 (760円) $760 \times 399時間 = 303,240$ 円 (100円未満切り捨て)

・全コース (399時間) : 720,252円 - 627,300円 = **92,952円 (実質負担額)**

<※生産性要件を満たす場合>

・経費助成 (60%助成) $720,252 \times 60\% = 432,151$ 円 (100円未満切り捨て)

・賃金助成 (960円) $960 \times 399時間 = 383,040$ 円 (100円未満切り捨て)

・全コース (399時間) : 720,252円 - 815,100円 = **実質負担金なし**

※詳しい助成金の内容については、厚生労働省ホームページ又は、福岡労働局福岡助成金センターにお問い合わせください。

※上記、助成金制度利用の実質負担金は確定金額ではありません。

スケジュール

日程	曜日	研修	日程	曜日	研修
4月1日	月		5月16日	木	プログラミングワークショップ2
4月2日	火		5月17日	金	HTML5/CSS3
4月3日	水	ITエンジニアに必要なビジネススキル1	5月18日	土	
4月4日	木	ITエンジニアに必要なビジネススキル1	5月19日	日	
4月5日	金	ITエンジニアに必要なビジネススキル1	5月20日	月	HTML5/CSS3
4月6日	土		5月21日	火	ITエンジニアに必要なプレゼンテーション実践
4月7日	日		5月22日	水	ITエンジニアに必要なプレゼンテーション実践
4月8日	月	コンピュータサイエンス	5月23日	木	Java言語によるオブジェクト指向プログラミング
4月9日	火	コンピュータサイエンス	5月24日	金	Java言語によるオブジェクト指向プログラミング
4月10日	水	コンピュータサイエンス	5月25日	土	
4月11日	木	情報セキュリティ	5月26日	日	
4月12日	金	情報セキュリティ	5月27日	月	Java言語によるオブジェクト指向プログラミング
4月13日	土		5月28日	火	Java言語によるオブジェクト指向プログラミング
4月14日	日		5月29日	水	システム開発およびレビューとテスト
4月15日	月	ネットワーク技術	5月30日	木	システム開発およびレビューとテスト
4月16日	火	ネットワーク技術	5月31日	金	システム開発およびレビューとテスト
4月17日	水	ネットワーク技術	6月1日	土	
4月18日	木	ネットワーク技術	6月2日	日	
4月19日	金	開発に必要なドキュメント作成 (Excel & Word)	6月3日	月	サーバサイド技術
4月20日	土		6月4日	火	サーバサイド技術
4月21日	日		6月5日	水	サーバサイド技術
4月22日	月	最新IT技術	6月6日	木	サーバサイド技術
4月23日	火	最新IT技術	6月7日	金	サーバサイド技術
4月24日	水	アルゴリズム	6月8日	土	
4月25日	木	アルゴリズム	6月9日	日	
4月26日	金	アルゴリズム	6月10日	月	システム開発ワークショップ1
4月27日	土		6月11日	火	システム開発ワークショップ1
4月28日	日		6月12日	水	システム開発ワークショップ1
4月29日	月		6月13日	木	システム開発ワークショップ1
4月30日	火	(Linux技術)	6月14日	金	システム開発ワークショップ2
5月1日	水	(Linux技術)	6月15日	土	
5月2日	木	(Linux技術)	6月16日	日	
5月3日	金		6月17日	月	システム開発ワークショップ2
5月4日	土		6月18日	火	システム開発ワークショップ2
5月5日	日		6月19日	水	システム開発ワークショップ2
5月6日	月		6月20日	木	システム開発ワークショップ2
5月7日	火	データベース技術	6月21日	金	システム開発ワークショップ2
5月8日	水	データベース技術	6月22日	土	
5月9日	木	データベース技術	6月23日	日	
5月10日	金	プログラミングワークショップ1	6月24日	月	システム開発ワークショップ2
5月11日	土		6月25日	火	システム開発ワークショップ2
5月12日	日		6月26日	水	システム開発ワークショップ2
5月13日	月	プログラミングワークショップ1	6月27日	木	システム開発ワークショップ2
5月14日	火	プログラミングワークショップ1	6月28日	金	ITエンジニアに必要なビジネススキル2
5月15日	水	プログラミングワークショップ2	6月29日	土	

授業開始時間：9:30~17:30 (7時間/日、昼食休憩1時間)

受講申込書

「個人情報の取り扱いについて」(※)を承諾のうえ申し込みます。

送付先 (株)福岡ソフトウェアセンター IT研修課 FAX番号:092-292-9715

貴社名			
ご住所	〒	Tel	
		E-mail	
ご担当様	氏名		
	部署名	役職	
フリガナ	生年月日	フリガナ	生年月日
受講者氏名	性別	受講者氏名	性別
	年 月 日		年 月 日
	男・女		男・女
フリガナ	生年月日	フリガナ	生年月日
受講者氏名	性別	受講者氏名	性別
	年 月 日		年 月 日
	男・女		男・女

※申込を希望されるコース・講座に○印をご記入下さい。

選択	コース名	講座名
	全コース	ITエンジニア育成コース

※各講座を選択受講する事も可能です。

選択	講座名
	ITエンジニアに必要なビジネススキル1
	コンピュータサイエンス
	情報セキュリティ
	ネットワーク技術
	開発に必要なドキュメント作成 (Excel & Word)
	最新IT技術
	アルゴリズム
	Linux技術 (4月30日～5月2日が休日になりましたら実施いたしません。)
	データベース技術
	プログラミングワークショップ1 (Java言語)
	プログラミングワークショップ2 (Java言語)
	HTML5/CSS3
	ITエンジニアに必要なプレゼンテーション実践
	Java言語によるオブジェクト指向プログラミング
	システム開発およびレビューとテスト
	サーバサイド技術
	システム開発ワークショップ1
	システム開発ワークショップ2
	ITエンジニアに必要なビジネススキル2

(※) 弊社ホームページ(<http://www.fsc-go.co.jp/applications/kojinn/>)をご確認ください。